大王中学校在り方検討会だより No.1

令和8年10月　大王中学校在り方検討会

1．在り方検討の開始基準

志摩市では、市内の生徒数が年々減少する中、国や県の指針も参考にして、令和８年度に市内各中学校の在り方について検討を開始する基準を「３学年全てにおいて、１学年 20 人以下となったとき」と定めました。

大王中学校がこの基準に該当しているため、今年度から同校の今後の在り方について検討を開始しました。

大王中学校生徒数推計

※R8年9月現在の児童生徒数及び住民基本台帳からの推計です。

学年	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1	19	25	18	27	19	15	16	15	10	16
2	15	19	25	18	27	19	15	16	15	10
3	14	15	19	25	18	27	19	15	16	15
合計	48	59	62	70	64	61	50	46	41	41

2．保護者との意見交換会を開催

7月2日に、大王町在住の中学校以下の子どもの保護者を対象に、意見交換会を開催しました。保護者や学校運営協議会委員など27名の方にご参加いただき、主に以下のような質問や意見が出されました。（⇒　）は志摩市教育委員会からのコメントです。

	出された主な質問・意見（⇒教委の回答・見解）
在り方検討会について	① 在り方検討会などは、どのくらいの期間をかけて行うのか。（⇒　浜島中学校の場合は２年程度） ② 20 人以下で毎年、意見交換会が行われるのか。（⇒　今後のことは在り方検討会で協議していく） ③ 統廃合以外の可能性はあるのか。（⇒　全ての可能性を排除せず、在り方検討会で検討していく）
今後、発展させることについて	① 統廃合や存続だけを考えるのではなく、大王中を発展させることを考えたい。 ② 大王中が独自で行っている取り組みを、こども園などにも宣伝してほしい。 ③ 大王中だけの特色を作ることで、移住者や学区外で大王中に来てくれる子が増えるのでは。
その他	① 志摩市が考える教育理念とは。「より良い教育」とは。（⇒　教育推進計画の目標概要から説明） ② この現状について、子どもたちの意見を知りたい。心理面が心配。（⇒　子どもたちの意見も集約していく方向で在り方検討会で検討） ③ 部活動の地域展開や、教育現場の声など、もっと資料や判断材料となる情報が欲しい。（⇒在り方検討会で必要な情報を整理し、発信していきたい） ④ 大王中がなくなると思い参加したが、「統廃合ありき」の会ではないことが分かり安心した。 ⑤ 徒歩圏内に学校がないと、ここに住みたくても住みにくくなる。 ⑥ 校舎の改修が必要になるから統廃合するのか。（⇒　生徒数を基準に在り方検討を開始した）

裏面へ

３．大王中学校在り方検討会での協議

大王こども園・大王小学校・大王中学校の保護者各代表と、園長・校長、自治会や地域団体代表、教育委員会等の関係者、計 13 名で「大王中学校在り方検討会（以下、検討会）」を立ち上げ、これまで 7/30 と 9/29の2回、次のような内容を協議してきました。

・大王中学校の現状について（少人数による教育活動の現状など）
・小規模校のメリット・デメリットについて
・方向性の結論を出す時期について
・在り方検討会だよりについて
・アンケートを含む意見集約の仕方について

【参考資料】

大王中学校の強みと課題

大王中学校をはじめとする小規模校には、一般的に以下のような強み（メリット）と課題（デメリット）があります。大規模校と小規模校の特性は、表裏一体の関係と言えます。

強み（メリット）

・子ども一人ひとりに目が届きやすく、個に応じたきめ細かな指導がしやすい。
・子ども一人ひとり学習機会や出番が確保され、活動の場を多く設定しやすい。
・学年を超えた活動ができ、学校が一体となった取り組みがしやすい。
・地域の祭りや行事への参加など、地域と連携が図りやすく、地域に根差した教育がしやすい。

課題（デメリット）

・人数的な制限があり、団体でのスポーツや、合唱などの活動がやりづらい。
・人間関係が固定化しやすい。
・日常において、多様な考えに触れる機会が持ちにくい。
・学校全体に必要な役割を少ない人数で分担するため、一人ひとりの負担が大きくなる。

こうした中、大王中学校では、小規模校の強みを生かし、一人ひとりにきめ細かな指導を行っています。

また、大王中学校では独自の取り組みとして、平日の部活動において、令和８年度から「総合部」を開設し、学校の部活動【卓球部、女子バレー部、野球部】以外の種目も練習できる態勢を作っています。

令和８年度に総合部で実施している内容は、サッカー、体力づくり、バスケットボール、美術です。



４．今後について

今後は、在り方検討会だより No. 2で、校舎や体育館などハード面や部活動地域展開に関する情報などをお知らせし、アンケートも実施する予定ですので、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

事務担当　志摩市教育委員会 学校教育課　担当 村田・磯和
電話：0599（44）0336 メール：ky-gakushido@city.shima.lg.jp